

会 議 録

- 1 名 称 第1回 北九州市DX推進懇話会
- 2 議 題 等 (1) 令和3年度の取組について
(2) 令和4年度の取組予定について
(3) 主な成果指標について
- 3 開催日時 令和4年2月9日(水) 14時から15時30分
- 4 開催場所 北九州市役所本庁舎15階 15C会議室
- 5 出席した者(構成員)の氏名
遠藤 直人 遠藤 禎幸 隈本 覚(座長)
甲木 正子 重永 酉子

6 経過(構成員発言内容)

【事務局説明】

(1)「令和3年度の取組について」の説明(資料P1から13)

【構成員意見】

- ローコードツールを使って作成した、新型コロナウイルス陽性者管理アプリによって保健所業務効率化の効果ができているとのことだが、さらに活用が検討できるものがあるれば、進めてほしい。
- テレワークを円滑に行うには、コミュニケーションツールを使ってスケジュールや業務の状況をどこでも共有できるようにするなど、上司と部下がお互いに何をしているかを簡単に把握できる仕組みを作ることが大切。
- 特定の部署の職員だけがデジタル技術を使うのではなく、皆が同じレベルに揃うことが、飛躍的に効率化を進めることになると思う。
- ローコードツールについては、導入によってどれくらい作業量や時間が減ったかなどを数値化すると分かりやすいと思う。

【事務局説明】

(2)「令和4年度の取組予定について」及び

(3)「主な成果指標について」の説明(資料P14から25)

【構成員意見】

- 市民センターでのコロナワクチンの予約支援は、デジタルを活用するメリットを感じられるため、高齢者がデジタルに馴染んでもらえるよい機会となると思う。
- デジタル化を課題としている業種は多い。例えば、業種を問わず課題やその解決策などの情報を共有できれば良いと思う。
- 外部人材活用の際には、情報管理はしっかりしてほしい。

6 用語集

ローコードツール

従来の複雑な手書きのコンピュータ・プログラミングの代わりに、視覚的な設定を通じてアプリケーション・ソフトウェアを作成するツールのこと。従来の手作業によるプログラミングの量を減らし、ビジネス・アプリケーションの提供を加速する。利点は、正式なプログラミングスキルを持つ人だけでなく、幅広い人々がアプリケーションの開発に貢献できる。

7 問い合わせ先

デジタル市役所推進室 デジタル市役所推進課
電話番号 093-582-3557